

## 臨床研究に関する公開情報

平成 29 年 10 月 1 日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

研究課題名：「Significance of Early Intervention by the Psychiatric liaison Team at HyogoPrefectural Amagasaki Medical center in Japan」

研究期間： 2017 年 4 月から継続中。

対象：2015 年 7 月から 2017 年 3 月、兵庫県立尼崎総合医療センターで精神科が介入した患者。

研究目的： 精神科リエゾンチームの早期介入の意義について検証する。

方法：2015 年 7 月から 2017 年 3 月までの期間、精神科リエゾンチームが介入した患者数、精神科身体合併病棟入院患者数および在院日数を調べ、早期介入前後のデータを比較する。研究成果は第 17 回 WPA 世界精神医学会議にて公表する。

個人情報を含まない。

問い合わせ先：

研究責任者： 坂口 恵美

兵庫県立尼崎総合医療センター 精神科  
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77  
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001  
unoemk@hotmail.co.jp